

個人が変わる、企業が変わる、物流が変わる。

地 球温暖化問題は、地球規模で確実に進行しており、異常高温の発生、強い熱帯低気圧の発生や大雨の発生頻度の増加、海面上昇等様々な影響が出てきております。このような状況の中、2008年は、京都議定書の第一約束期間の開始とともに、7月に開催されるG8北海道洞爺湖サミットにおいて「2050年までに温室効果ガス排出量を少なくとも半減させることが検討される」等、地球温暖化問題対応に向けて節目の年と考えられます。

また、経済社会活動に伴い発生する廃棄物量の増大が進む中、天然資源の枯渇等が顕在化しつつあり、今後世界共通の問題となることが想定されます。



このような地球温暖化や廃棄物等の環境問題に対し、我々、物流・ロジスティクスに携わる企業についても、積極的な取り組みが求められています。しかしながら、環境対応に取り組んでいる企業数はまだまだ少ないのが現状ではないでしょうか。そこで、ロジスティクス環境会議 (Conference on Green Logistics in Japan : CGL) では、これから環境対応を始めようと考えている企業や、取引先との連携による環境対応を推進したいと考えている企業を主な対象として、活動のきっかけやヒントとなる情報を紹介するガイドを作成いたしました。このガイドをご活用いただき、1社でも多くの方が、環境負荷低減活動に取り組んでいただけることを祈念しております。

ロジスティクスと環境問題

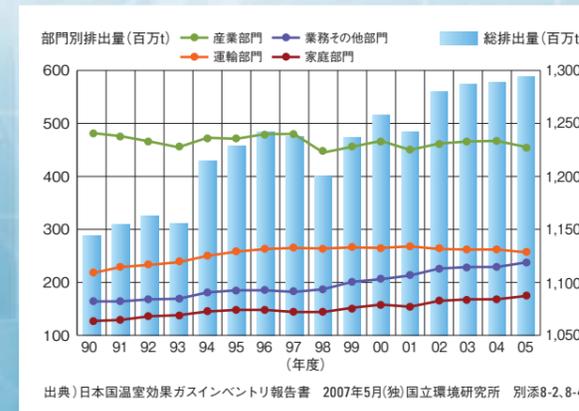
ロジスティクス分野が大きな影響を与える主な環境問題として、地球温暖化、資源の枯渇、廃棄物があります。ここでは、これらの問題とロジスティクスの関わりについて見てみましょう。

地球温暖化

トラックや鉄道、船舶を使って行われる輸送活動やフォークリフトを使う荷役作業、また、冷凍・冷蔵倉庫での保管行為など、軽油や電力などのエネルギーの使用は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)を排出することに他なりません。

日本の二酸化炭素排出量は1990年度以降も増加し続け、2005年度には12億9,300万トンに達しました。そのうち、ロジスティクス分野と深いかわりを持つ運輸部門*1からの排出量は全体の19%を占めるばかりか、1990年度から18%も増大しています。

図表 日本のCO₂排出量の推移



*1 運輸部門には、旅客、貨物双方が含まれており、2005年度の貨物に関するCO₂排出量は1億100万トンである。
 *2 ライフサイクルインベントリー分析の手引き 化学工業日報社 1998年9月
 *3 基礎素材のエネルギー解析調査報告書 (社)化学経済研究所 1993年9月
 *4 ライフサイクルアセスメントの方法によって、これらの値は異なるものになりますので、あくまでもひとつの例示とお考えください。

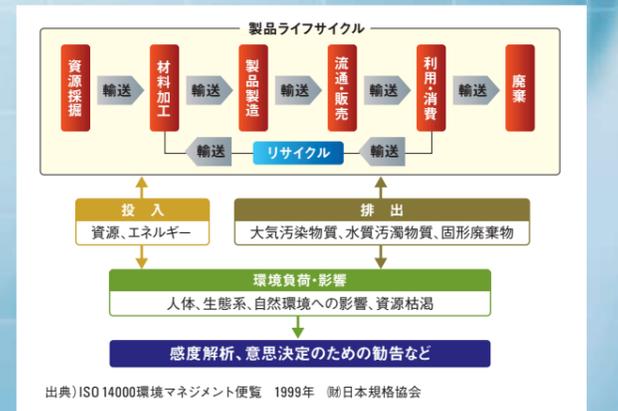
資源の枯渇及び廃棄物

物流品質を確保するために多用されている包装資材は、紙やプラスチックなど、地球上の有限な資源である森林資源や原油などから作られています。また、使い終わって捨てられる包装資材は廃棄物となり、燃やされたり埋め立てられたりします。

包装資材を使うことは、有限な資源を使うことであり廃棄物を発生させることでもあります。

段ボール1kgを作るためには1.76kg*2、また、プラスチック(発泡スチレン)1kgを作るためには3.01kg*3の二酸化炭素が排出されているとする推計結果もあります*4。

図表 ライフサイクルアセスメントの概念



第2期 ロジスティクス環境会議 メンバー企業一覧

2008.3.11現在 97社
(社名50音順)

愛知海運(株)
 エプソンロジスティクス
 川崎陸送(株)
 国分(株)
 ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
 大和物流(株)
 トヨタ輸送(株)
 日本コバック(株)
 (株)ハビネット
 プラネット物流(株)
 三菱電機ロジスティクス(株)

愛知陸運(株)
 遠州トラック(株)
 北九州市
 佐川急便(株)
 新日石プラスト(株)
 ディーアイエス物流(株)
 トヨフジ海運(株)
 (株)日本総合研究所
 (株)バンダイロジバル
 北港運輸(株)
 明治乳業(株)

アサヒビール(株)
 (株)沖ロジスティクス
 キッコーマン(株)
 山九(株)
 新日本製鐵(株)
 鉄道情報システム(株)
 トランコム(株)
 日本通運(株)
 (株)日立製作所
 松下電器産業(株)
 矢崎総業(株)

味の素(株)
 (株)オリエント・ロジ
 キヤノン(株)
 サントリー(株)
 住友電気工業(株)
 (株)東芝
 (株)トワード物流
 日本電気(株)
 福岡倉庫(株)
 三井倉庫(株)
 安田倉庫(株)

(株)イーコス
 オリnbas(株)
 キュービー(株)
 三洋電機ロジスティクス(株)
 西濃運輸(株)
 東芝物流(株)
 日産ディーゼル工業(株)
 (株)日本能率協会総合研究所
 不二製油(株)
 三井物産(株)
 (株)ヤマタネ

イオン(株)
 オリnbasロジテックス(株)
 キリンビール(株)
 (株)サンロジスティクス
 センコー(株)
 東芝物流コンサルティング(株)
 日清オイリオグループ(株)
 日本ビジネスロジスティクス(株)
 富士通(株)
 三菱化学物流(株)
 リコーロジスティクス(株)

いすゞ自動車(株)
 花王(株)
 (株)コイケ
 (株)J-オイルミルズ
 第一貨物(株)
 トヨタ自動車(株)
 日清食品(株)
 日本ロジテム(株)
 (株)フジトランスコーポレーション
 三菱倉庫(株)
 (株)菱食

(株)イトーヨーカ堂
 鹿島建設(株)
 光英システム(株)
 四国名鉄運輸(株)
 ダイキン工業(株)
 (株)豊田自動織機
 (株)日通総合研究所
 (株)野村総合研究所
 富士フィルムロジスティクス(株)
 (株)三菱総合研究所

NECロジスティクス(株)
 加藤産業(株)
 鴻池運輸(株)
 (株)資生堂
 (株)ダイフク
 豊田スチールセンター(株)
 (株)日本航空インターナショナル
 ハウス食品(株)
 (株)富士ロジテック
 三菱電機(株)